

<海老名市：海老名エコ・パークアンドライド社会実験>

施策名	海老名エコ・パークアンドライド社会実験
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シース など	背景 1：通過交通、海老名市から周辺地域への通勤車などによる道路渋滞が発生していた。 背景 2：海老名駅周辺では、キスアンドライドやパークアンドライドが自然発生的に行われており、駅前に向かう特定道路で混雑が発生していた。 背景 3：駅周辺の開発に伴い、月極め駐車場が減少に向かっていた。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	● 目的・ねらい： - 都心市街地等での渋滞緩和 - 市民と企業が共同で車を利用することによって駐車場を有効活用 - 電気自動車を用いることで、排気ガスのない環境にやさしい自動車利用 - 公共交通の空白地域の解消 ● 対象交通：長距離自動車通勤から公共交通への転換 駅前に入流するキスアンドライドやパークアンドライドの車
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 6 ～ 8 年度：海老名市が低公害車普及促進モデル都市に指定 平成 10 年度：日産自動車より低公害車・IC システムを利用したカーシェアリング実験が提案される 平成 11 年度：一般市民と市役所の共同利用によりシステムの基礎的検証をテーマに実験を行う 平成 12 年度：民間事業所も含んだ共同利用、受渡駐車場の分散化、有料化をテーマに実験を行う
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	● 実施主体：海老名市、神奈川県、国土交通省（エコ・パークアンドライド推進協議会） ● 検討組織：エコ・パークアンドライド研究委員会、市民モニター会議 国、県、市 ● 広報：月に 2 回発行される「広報えびな」によって実験の概要、モニターの募集、実験結果を報告 実験概要などを海老名市ホームページに記載 ● 費用負担：費用の全容については不明

実施概要	●対象地域：神奈川県海老名市海老名駅周辺
対象地域 実施日時 施策内容 など	●実施日時：平成 12 年 1 月～3 月、平成 12 年 11 月～平成 13 年 3 月 ●施策内容：小型電気自動車を使い、公募により選ばれた市民モニター（H11 年度：10 名、H12 年度：14 名）による通勤と海老名市職員、民間事業所 6 社との共同利用実験を実施。車の受渡し駐車場として、海老名中央公園地下駐車場（H11、12 年度）、海老名市役所駐車場（H12 年度）、民間事業所駐車場 3 箇所（H12 年度）を利用。
効果測定内容	●効果測定内容：
測定内容 効果把握 など	・市民モニター評価 ・市職員評価 ・市民利用意向アンケート、事業所へのヒアリング調査（H11 年度） ・市民アンケート、従業員アンケート（H12 年度） * 海老名市内の事業所だけでなく周辺地域の従業員にもアンケートを実施 ●効果把握結果：市民からも関心が高く、共同利用に参加したい一般事業者の意向も示された。
取組上の課題	課題 1：計画段階からもっと市民に参画してもらうべきであった。
合意形成 費用負担 など	課題 2：共同利用がうまくいくかどうかを検証したが、そのシステムを運営するシステムの研究に手が回らなかった。 課題 3：車の共同利用は、マイカーと違い何時でも自由に車を利用できないため、利用者にとっては第二の車となり、車の台数が増え、更なる渋滞を生み出す可能性がある。
その他特記事項	神奈川県が主体となって、平成 13 年度は藤沢市、平成 14、15 年度は厚木市を舞台に継続実験を展開中。
今後の方向性 地域指定 等	

以上

都道府県市名 : 神奈川県海老名市
 担当部局名 : まちづくり部都市計画課